

資料配布の場所・日時

筑波研究学園都市記者会
(資料配付)

日時：令和5年2月3日 14時



令和5年2月3日
国立研究開発法人土木研究所

洪水 DX 防災学習・イン・スクール

つくば市近郊の中学校および高校にて、国土交通省が進めている「マイ・タイムライン」および土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)が開発を進めている「疑似洪水体験システム」を用いた、「洪水防災学習」を実施します。

大規模な洪水災害が国内外で頻発していますが、洪水災害に効果的に対応するためには、洪水の危険性を知った上で、いざという時にどのように行動すべきか事前に考えておくことが求められます。

このため、国土交通省では、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理してとりまとめる「マイ・タイムライン」の取組を進めています。

一方、土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM: アイチャーム)では、仮想現実(Virtual Reality (VR))技術を用いて、仮想洪水をパソコン上で再現し、パソコン上のアバター(分身)を操作することで、洪水災害を仮想的にリアルに体験できる「疑似洪水体験システム」の開発を進めています。

今回、国土交通省下館河川事務所様のご協力のもと、上記を組み合わせ、今後の防災を担う中学生・高校生を対象に、弊所で初めて「洪水防災学習」を実施することとしました。

学習参加者の一部は、2月19日(日)午後につくば国際会議場で実施される「第9回洪水管理国際会議(ICFM9)」における一般公開シンポジウム「君は想定外の洪水から生き残れるか」の「水防災競技会 ~e-sports@KasenBosai~」に参加します。

【実施校と実施日時】(各10~20人程度)

学園の森義務教育学校	2月4日(土)9:00-10:30
並木中等教育学校	2月6日(月)16:15-18:00
手代木中学校	2月7日(火)16:10-16:40、8日(水)16:10-16:40
結城特別支援学校	2月9日(木)13:30-15:00
谷田部東中学校	2月11日(土)9:00-10:30
竹園高校	2月14日(火)15:00-16:30

【講師】 国土交通省下館河川事務所職員 および ICHARM 研究員

【問い合わせ先】

国立研究開発法人土木研究所 水災害研究グループ 上席研究員 栗林 大輔
電話番号 029-869-5083